

# 株式会社アニマルステムセル

本社住所	東京都小金井市中町2-24-16 農工大・多摩小金井ベンチャーポート		
代表者	喜多見 浩次	設立年月	2011年11月
経営理念	「創造する」こと。「実行する」こと。そして、「約束を守る」こと。		
業務分野	脂肪由来幹細胞の動物医薬品開発		
連絡先	050-3386-1402	HPアドレス	<a href="http://www.animalstemcell.jp">http://www.animalstemcell.jp</a>

## 事業内容のご紹介

- ・ イヌの細胞療法開発
- ・ 動物病院経営のコンサルティング
- ・ 動物医薬品開発支援事業

## 会社のPR

### 【細胞療法事業】

「幹細胞」とは？

「細胞を生む」細胞のことを幹細胞といいます。全ての生き物のからだは細胞からできています。人間の体内には約60兆個もの細胞が存在しています。細胞はそれぞれ、その場所にあわせて決まった役割を持っています。幹細胞の特徴は他の細胞の元となる細胞をうみ出す事ができるという事です。幹細胞は、自分以外の細胞を生み出す際に、2つに分裂します。この分裂した細胞のうち一つは幹細胞として維持され、もう一つの細胞は他の細胞へと変化する細胞になります。幹細胞は傷ついたり、古くなってしまった細胞を入れ替えるために、この様に新しい細胞を作っているのです。幹細胞は様々な組織の中に存在します。そのなかで脂肪の中に含まれている幹細胞を「脂肪由来幹細胞」といいます。

「幹細胞治療」とは？



健康な犬から採取した脂肪に含まれる幹細胞を特殊な技術を用いて分離・培養します。これらの培養された幹細胞は、凍結保存しておりますので、治療が必要なときにすぐに投与が可能となります。体内へ投与された幹細胞はダメージを受けた細胞や組織を修復すると言われております。

当社は、この幹細胞を「動物用医薬品」として承認してもらうために、医師主導型の有償治験を全国の動物病院で実施しております。大規模な治験を行うことで、幹細胞の有効性と安全性データが多く得られ、薬事承認される可能性が高まります。また、幹細胞以外の細胞療法についても治験を実施する予定でおります。

### 【治験受託事業】

イヌは、ヒトに比べて5倍以上のスピードで成長します。この特性をヒトの医薬品等の開発に生かすことで、より短期間で臨床のエビデンスを得ることが可能となります。

当社が構築した全国の治験実施施設のネットワークにより、より速く、低コストでPOC (Proof of Concept) の確立が可能となります。

## 代表者のメッセージ

動物医療のみならず、ヒト医療まで含めたトランスレーショナル・リサーチへの貢献も行っていきたい。

農工大・多摩小金井ベンチャーポート